



(写真) Blu Radio “米国海軍 8月28日に給油のため戦艦をクラサオに着岸予定”

## 2025年8月25日(月曜)

### 政治

「ペトロ大統領 太陽カルテルは存在しない  
～米国議員 ペトロ大統領へ懲罰を示唆～」

「米海上警備隊 2カ月間で麻薬34トンを押収」

### 経済

「25年Q2 17四半期連続で経済プラス成長」

「2025年のバイク販売 前年比40%減?」

「中国 Kaiyi Auto ベネズエラで新車の販売を開始」

「Elliott Management CITGO 競売の最有力候補」

### 社会

「ベネズエラ地価 他のラ米地域より50%安」

## 2025年8月26日(火曜)

### 政治

「アルゼンチン 太陽カルテルをテロ組織指定  
～米国 麻薬取り締まりグループを構築中～」

「米国 軍艦・潜水艦をカリブ海南部に派遣  
～マドゥロ政権 戦艦、海兵1.5万人出動～」

「TT 米国のカリブ海軍事オペレーション支持」

「クラサオ ベネズエラへの渡航自粛を要請」

### 経済

「外国からの旅行者 前年比30%増」

### 社会

「カラカス物価 ラ米諸国の中では比較的高額」

2025年8月25日（月曜）

## 政治

「ペトロ大統領 太陽カルテルは存在しない  
～米国議員 ペトロ大統領へ懲罰を示唆～」

7月 トランプ政権は、「太陽カルテル（マドゥロ政権の政府高官や軍部らで構成されると言われるグループ）」を国際テロ組織に指定した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1248](#)」）。

また、8月22日には米国に続きパラグアイ政府も「太陽カルテル」を国際テロ組織に指定（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1260](#)」）。

本レポートで後述するが、アルゼンチン政府も「太陽カルテル」を国際テロ組織に指定しており、「太陽カルテル」が米州の政治の争点になっている。

米州全体で「太陽カルテル（マドゥロ政権）」への圧力が厳しくなる中、コロンビアのグスタボ・ペトロ大統領は唯一、米州地域でマドゥロ政権を擁護する存在となっている。

8月25日 ペトロ大統領は、自身のソーシャルメディア・アカウントにて「太陽カルテルは存在しない」「自身に従わない政府を倒壊させるための極右の虚偽の口実である」と投稿した。

なお、ペトロ大統領は、麻薬取引について「Clan de Golfo」と「コロンビア革命軍（FARC）」の残党である Estado Mayor Central (EMC)氏と Segunda Marquetalia 氏が強く関与していると指摘。

麻薬取引を撲滅するために米国政府とベネズエラ政府が協力して「Clan de Golfo」と対峙することを提案している。

この発言を受けて、米国下院議会の Carlos Giménez 議員（共和党、フロリダ州選出のキューバ系議員）は、「議会は彼の発言を冗談だと認識しない」「これ（ペトロ大統領の発言）は深刻な問題である」「仮にペトロがディオスダードや太陽カルテルに協力するようであれば、麻薬密売業者の共犯者であり、米国司法で処罰を受ける可能性がある」との見解を示した。

なお、ペトロ大統領は、Giménez 議員のコメントに反応。

「あなた（Giménez 議員）には、ラテンアメリカで民意により選ばれた大統領を裁く権利はない」「ピノチェト（チリの独裁者）は米国の同盟国だった」「私はコロンビア産コカインがベネズエラに流入する際の買い手に関する証拠を握っている」「真実を語ることが刑務所に行くことを意味するなら、私は喜んで刑務所に入る」と反論した。

## 「米海上警備隊 2カ月間で麻薬34トンを押収」

米国の海上警備隊は、直近2カ月（6月26日～8月18日）の間に太平洋、大西洋で押収した麻薬約34.5トン（28トンはコカイン、6.5トンはマリファナ）をフロリダ州の Everglades 港に荷卸しした。

海上警備隊の説明によると、この34.5トンの麻薬は末端の市場価格で4億7300万ドルに相当する。

フロリダ州の全人口に致死量の麻薬を摂取させることが可能な量で、海上警備隊史上最大の押収量だったという。

同期間に太平洋、大西洋地域で実施したオペレーションは19回。その中で最も大きかったのは、6月23日のメキシコの Socorro 島でのコカイン4トンの押収だったという。

## 経 済

### 「25年Q2 17四半期連続で経済プラス成長」

8月25日 デルシー・ロドリゲス副大統領は、2025年第2四半期（25年Q2）のベネズエラの経済成長率について、「全ての経済セクターにおいてプラス成長だった」と言及。

17四半期連続でプラス成長を達成したと言及した。

ロドリゲス副大統領は、プラス成長を達成した要因について「民間セクターの成長を促進させる行政の方針の成果」「輸入を減らし、国内生産を振興する政策が功を奏した」と評価した。

ロドリゲス副大統領は、具体的な25年Q2の経済成長率については言及しなかったが、一部産業あるいは品目については成長率を説明。

商業セクターは、前四半期（25年Q1）比7.72%増。医薬品セクターは、同27.32%増。

野菜類は、（恐らく前四半期比）63%増

穀物類は、同60%増

果物類は、同51%増

鶏肉は、同14%増

豚肉は、同4%増

養殖業は、同3%増

と説明した。

### 「2025年のバイク販売 前年比40%減？」

自動車分野の専門記者 Nelin Escalante 氏は、2025年のベネズエラでのバイク販売が大きく減少するとの見解を示した。

Escalante 氏によると、ここ最近バイクの部品輸入が停止しているという。また、ベネズエラ国内でこの種の車両（バイク）に15%の税金が課税されたためだという。

そのため現在は1000ドルを下回るバイクが販売されていないと指摘。2025年のバイクの販売数量は約42万台を予測しており、24年の約80万台から大きく減少するとしている。

ただし、筆者が確認した限りバイクの販売に15%の税が課されたという記事は確認できなかった。

また、この記事の情報ソースは Union Radio と書かれていたが、Union Radio のウェブサイトを見たところ、Nelin Escalante 氏による上記の発言は確認できなかった。

筆者が見落としているだけの可能性はあるが、フェイクニュースの可能性もありそうだ。

### 「中国 Kaiyi Auto ベネズエラで新車の販売を開始」

奇瑞自動車傘下の「凱翼汽車 (Kaiyi Auto)」は、ベネズエラで SUV の新モデル「Kaiyi X7」の販売を開始すると発表した。

Kaiyi X7 は、Kaiyi Auto のプレミアムクラスに分類される車種。

Kaiyi X7 のデザインは、フェラーリやアルファロメオのデザインを担当したことで知られる Luwie Vermeersch 氏率いるデザイン会社「Granstudio」が請け負ったという。



(写真) Kaiyi Auto Venezuela

## 「Elliott Management CITGO 競売の最有力候補」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1260](#)」でも紹介したが、CITGO 競売（正確には CITGO の株式を 100% 保有している PDV Holdings の競売）は 9 月中（中旬）に最終落札者が決まる見通しになっている。

本件について、ロイター通信は、同競売の運営を担当している Robert Pincus 氏が、米国投資ファンド「Elliott Investment Management」傘下の「Amber Energy」を最有力候補に推薦したと報じた。

これまで Amber Energy と「Dalinar Energy（Gold Reserve 傘下の会社）」が、最有力候補の座を争っていたが、Amber Energy が一歩リードしたことになる。

非公式情報ではあるが、ロイター通信によると、Amber Energy の提案は、債権者への 58.6 億ドルの支払いに加えて、PDVSA 20 の債券保有者に対する 28.6 億ドルの負債の支払いが含まれているという。

## 社 会

「ベネズエラ地価 他のラ米地域より 50%安」

「ベネズエラ不動産商工会」の Pablo González Travieso 代表は、インタビュー番組に出演し、現在のベネズエラの不動産は投資する価値があるとの見解を示した。

Travieso 代表によると、現在のベネズエラは他のラテンアメリカ地域と比べて土地価格が 50%ほど低く取引されているという。

特に住宅地の地価が割安のようで、土地を購入しホテルなどの事業を検討している投資家が存在すると指摘。

ただし、不動産取引を活性化させるためには投資保護の安全性を高める必要があり、同時に税制的な振興策が必要との見解を示した。

2025年8月26日（火曜）

## 政治

「アルゼンチン 太陽カルテルをテロ組織指定  
～米国 麻薬取り締まりグループを構築中～」

8月26日 アルゼンチンのミレイ政権は、「太陽カルテル」を国際テロ組織に指定した。

既に米国、パラグアイ、エクアドル（エクアドルもパラグアイに先駆けて8月14日に太陽カルテルを国際テロ組織に指定していた）も太陽カルテルを国際テロ組織に指定しており、米国の同盟国がマドゥロ政権に圧力をかけている構図が見える。

この発表を受けて、野党主流派のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏は、自身のソーシャルメディア・アカウントにて「ベネズエラ国民を代表し、ベネズエラの自由と民主主義の大義を支援する貴殿とアルゼンチン国民に深い感謝を申し上げます」と投稿。ミレイ大統領への感謝の意を表明した。

また、同日に米国のマルコ・ルビオ国務長官は「我々は麻薬カルテルと戦うための国際的な同盟を構築している」「近代史で初めて、本当の意味で我が国民を苦しめている犯罪組織に対して攻撃的な対応を執っている」と言及。

具体的には、エクアドル、パラグアイ、ガイアナ、トリニダード・トバゴ、アルゼンチンの国名を挙げ、これらの国と共に麻薬密売組織と戦うとの見解を示している。

「米国 軍艦・潜水艦をカリブ海南部に派遣  
～マドゥロ政権 戦艦、海兵1.5万人出動～」

ロイター通信は、トランプ政権が、カリブ海での麻薬取り締まりオペレーションに新たな軍艦を投入したと報じた。

新たに投入された軍艦は、ミサイル巡洋艦「USS レイク・エリー」と原子力攻撃型潜水艦「USS ニューポート・ニューズ」。

匿名の情報筋によると、これらの軍艦は、来週初めにカリブ海南部に到着する予定だという。

この報道を受けて、マドゥロ政権は米国政府による圧力を批判。



（写真）アルゼンチン外務省

“太陽カルテルを国際テロ組織に指定すると発表”

国連で活動しているベネズエラ代表団は、声明を発表。「米国政府による敵対的行動と脅迫がエスカレートしている」と訴え、国際社会に対して、米国による地域の安定を脅かす行為を制止させるよう求めた。

また、マドゥロ政権もトランプ政権の武力接近に武力で対抗する姿勢を示している。

8月26日 パドリーノ・ロペス国防相は、ベネズエラのタチラ州、スリア州の地域に軍人15000人を配置すると発表。また、海軍のパトロール船やドローンを配置し、コロンビアと協力し、同地域を保護すると説明した。

### 「TT 米国のカリブ海軍事オペレーション支持」

トリニダード・トバゴ (TT) は、ベネズエラと非常に近い距離にある島国で、両国の領海付近にある「ドラゴン油田」には大量の天然ガスが埋蔵されている。

これまで同油田の開発のため、マドゥロ政権と TT 政府は協力関係にあったが、2025年に TT で Kamla Persad 政権が発足したことで、両国の関係は180度転換した。

ルビオ国務長官が説明した通り、現在は TT もマドゥロ政権と対峙する米国の同盟国に入っており、Kamla Persad 首相はトランプ政権によるカリブ海での麻薬取り締まりオペレーションに対する賛同の意思を表明していた。

本件について、2015年～25年まで TT の首相を務めていた Keith Rowley 氏（現在は「カリブ共同体 (Caricom)」代表）が、カリブ海での米国政府による軍事行動の拡大を支持する Persad 首相の姿勢を批判する見解を表明している。

これを受けて、8月26日に Kamla Persad 首相は、「TT ファースト」の方針を説明。

「CARICOM を攻撃する意思はないが、TT は自国の見解を表明する権利がある」と説明した。

また「CARICOM の結束は、私の発言以前から既に亀裂が生じていた」「麻薬取引と武器密輸に対して断固として立ち向かう姿勢を貫いたことについて、私は謝罪するつもりはない」との見解を示した。

### 「クラサオ ベネズエラへの渡航自粛を要請」

前述の通り、ここ最近は米国とベネズエラの間で緊張が高まっており、カリブ海地域の雰囲気が悪化している。

この状況を受けて、クラサオ政府の Gilmar Pik Pisas 首相は、自国民に対して、ベネズエラへの渡航を自粛するよう要請した。

また、米国による軍艦派遣について

「我が国の国民は安心することが出来る」「カリブ海での軍事力の存在は麻薬密輸に対する予防的な対応を目的としている」と説明。自国民に対して、平静を保つよう呼びかけた。

クラサオは米国軍との協定に基づき、麻薬取り締まりオペレーションの後方支援を行うことになっており、8月28日には米国戦艦「USS Jason Dunham」が給油のために Willemstad の港に停泊する予定になっている。

なお、Willemstad からベネズエラまでは50キロほどの距離。

ベネズエラ海軍もベネズエラ領海でパトロールを行うとしており、軍事的な緊張が更に加速することになるだろう。

## 経済

「外国からの旅行者 前年比30%増」

デルシー・ロドリゲス副大統領は、2025年前期（1～6月）に外国からベネズエラへ訪れた観光客が前年同期比70.84%増えたと発表。2025年は通年で前年比30%増になるとの見通しを示した。

ロドリゲス副大統領は、外国人観光客が増加した理由について「観光省と民間企業の協力強化の成果」と説明した。

なお、ベネズエラの国際玄関口であるラグアイラの空港「マイケティア国際空港」からの出国先について、最も多いのはスペインとコロンビアだという。

他、マイケティア国際空港からの国内線で利用が多いのは、ヌエバエスパルタ州、タチラ州、マラカイボ州、ロスロケス島、カナイマ。国内線のチケットは安ければ50ドル/人で購入できるという。

## 社会

「カラカス物価 ラ米諸国の中では比較的高額」

国際団体「Living Cost」は、カラカスの生活コストについて、月額1130ドルとの調査結果を発表した。

これはラテンアメリカの中では比較的物価の高い方で、例えばボゴタの場合は月額922ドルとなっている。

なお、この価格は1人当たりの価格だが、4人家族の場合は1130ドル×4人とはならない。「Living Cost」によると、4人家族の場合は、月額2754ドルだという。

生活コストの内訳は、家賃が424ドル、食費が426ドル、交通費が169ドル。これに対して、税引き後の収入は328ドルで圧倒的に足りていない。Living Costは、この生活コストについて、「先進国レベルの生活水準を想定した場合」としており、実際の国民の生活レベルはLiving Costの想定よりも低いとしている。

	Caracas	Bogota
 <b>Cost of living One person</b>	\$1130	\$922
 <b>Cost of living Family</b>	\$2754	\$2273
 <b>Population</b>	2.25M	8.03M
 <b>One person rent</b>	\$424	\$411
 <b>Family rent</b>	\$720	\$705
 <b>Food Expenses</b>	\$426	\$272
 <b>Transport Expenses</b>	\$169	\$155
 <b>Monthly salary after tax</b>	\$328	\$390

以上